

患者用パスにおける オーバービュー形式と 日めくり形式の比較検討



¹国立病院機構 四国がんセンター クリニカルパス推進委員会

²同 クリニカルパス管理委員会

○砂野 由紀¹, 羽藤 慎二¹, 浅木 彰則¹, 片山 洋子¹, 清水 弥生², 河村 進²

患者用パスの形式

オーバービューパス

横軸に時間軸，縦軸にはアウトカム（達成目標）と介入項目（タスク）を並べ，治療ケア予定の一連全体の流れを視覚的に確認できる日程表の形態になったもの。

引用：クリニカルパス概論

患者用パスの形式

日めくり式パス

オーバービューパスの1列分すなわち
1日分の内容を詳細に閲覧でき、評価
の記録を行うもの。

引用：クリニカルパス概論

目的

患者用パスの形式には、オーバービュー形式と日めくり形式が存在するがその違いについての検討は少ない。

今回、両形式の患者用パスについて、比較検討を行ったので報告する。

方法

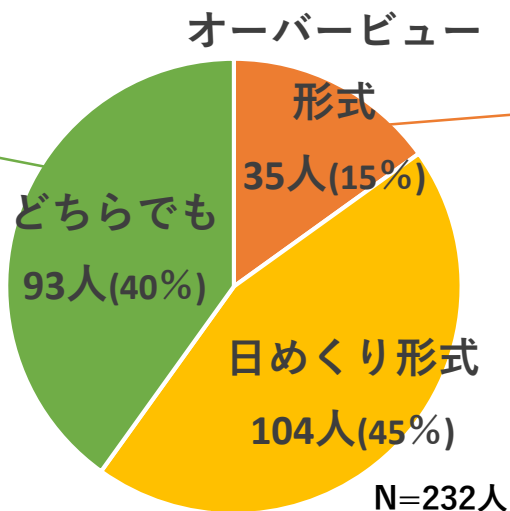
検討1：いずれの形式が好ましいと考えているか
(看護師対象アンケート調査)

検討2：2008年から2018年の間で、使用されている形式の割合がどのように変化したか

検討3：オーバービュー形式(2008年)と日めくり形式(2018年)の記載内容の違い

あなたは、日めくり形式患者用パスとオーバービュー形式患者用パスのうち、どちらが患者用パスとして好ましいと思いますか？ 理由も教えてください。

- ・使い分けると良い
- ・両方あったらよい



- ・内容が簡潔である
- ・1枚で見やすい

- ・内容が具体的である
- ・オリエンテーションに使用しやすい
- ・患者さんがその日の出来事を記録できる



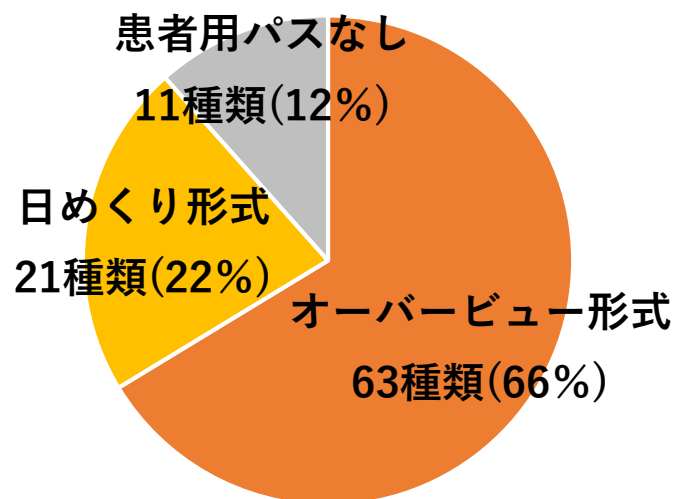
方法

検討1：いずれの形式が好ましいと考えているか
(看護師アンケート調査)

検討2：2008年から2018年の間で、使用されている形式の割合がどのように変化したか

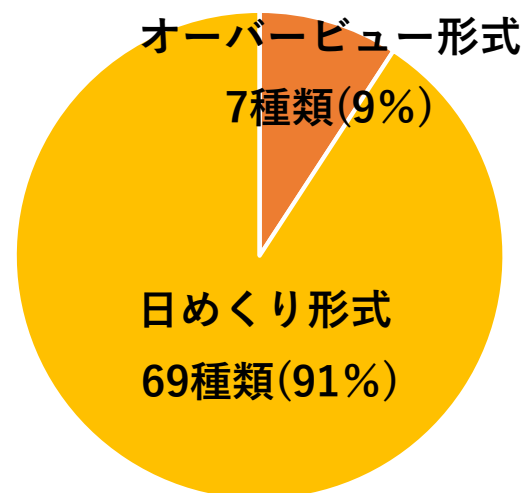
検討3：オーバービュー形式(2008年)と日めくり形式(2018年)の記載内容の違い

2008年（紙パス）



承認パス件数：95件

2018年（電子パス）



承認パス件数：76件

10年の間に、オーバービュー形式から日めくり形式の患者用パスが増加していた。

方法





















検討1：いずれの形式が好ましいと考えているか
(看護師アンケート調査)

検討2：2008年から2018年の間で、使用されている形式の割合がどのように変化したか

検討3：オーバービュー形式(2008年)と日めくり形式(2018年)の記載内容の違い

例) 胃切除患者用パス

オーバービュー形式(2008年)

| 胃の手術を受けられる()さん | | | | | | | |
|-----------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 病名:() 症状:() | | 20 年 月 日 | | | | | |
| 経過 月 日 | 入院日～ 月 日～ | 手術前日 月 日 | 手術当日(術前) 月 日 | 手術当日(術後) 月 日 | 術後1日 月 日 | 術後2日 月 日 | 術後3日 月 日 |
| 目標 | 手術について理解できる | 手術の準備ができる | 安全に手術が受けられる | 苦痛があれば伝えることができる | 起立することができる | 食事指導の内容が理解できる 病院内を歩くことができる | 食事指導に沿って食事摂取ができる |
| 治療・処置 | | おへそを掃除を行います。 前々日と前日の寝る前に下剤を飲んで腸の中をきれいにします。 希望があれば安定剤をお渡しします。 | 下剤を飲んで排便が無く希望時のみ洗腸を行います。 必要に応じて筋肉注射をして手術室に向かいます。 | 酸素吸入を行います。 足に、全身の血の流れをよくする機械をつけます。 心電図モニターの器械をつけます。 | 朝の8時頃に外します。 | 廻診時にガーゼを外します  | 食後に消化剤の内服が始まります。  |
| 食 事 | 普通食もしくは治療食がでます。  | 21時以降は何も食べたり飲んだりできません。 | 絶飲食になります。  | | | 朝から3分粥が始まります。(ゆっくりとよくかんで食べましょう。)  | |
| 点 滴 | | | 手術の前に点滴を500～1000ml行います。  | 手術のあとも点滴を行います。  | 点滴を24時間行います。  | 眠るまで点滴を行います。  | |
| 検 査 | 外来で実施していない場合、診断のための検査と、手術のための検査を行います。 (胃カメラ・CT・心電図・呼吸機能・レントゲン・血液検査など) | | |  | 血液と尿の検査をします。  | 血液と尿の検査をします。  | |
| 看 護 | 活 動 | 活動に制限はありません。  | ベッド上で安静にしましょう。  | ベッドの頭元を少し上げます。看護師の介助で体の向きを変えます。 | 看護師付き添いで座ったり立ったりしてみましょう。 | 看護師と一緒に病棟内を歩いてみましょう。 | 病棟内を歩いてみましょう。 |
| | 清 潔 | お風呂に入りますよ。  | 入浴し、爪が伸びている人は切りましょう。 | うがいをしてみましょう。(最初は看護師が行います。) | 体を拭きます。(うがい・洗面もしてみましょう) | 自分で拭けるところは拭いてみましょう。  | |
| 説 明・指 導 | 看護師より入院生活のオリエンテーションがあります。  術前機能訓練を説明します。(痰の出し方・うがい・深呼吸・体の動かし方)  | 準備物品を確認させていただきます。(記名をしましょう) 医師より手術についての説明があります。(説明後、同意書に記名してください) | 必要物品を揃えておきましょう。  | 術後より、体の向きを左右に動かします。 術衣・病衣・バスタオル・ティッシュペーパー・吸い飲み・腹帯・T字帯・紙おむつ | | 看護師より食べ方の説明があります。  | |
| その他 | | | | | | | |

改訂

日めくり形式(2018年)

| 手術後2日目 月 日 | |
|---|---|
|  | 今日の目標 部屋の中を歩いてみましょう 安静にしているときの痛みがない 発熱がない |
| <時間> | <予定> |
| 6:00 | 検温 |
| 7:30 | 洗面、歯磨きをしましょう |
| 9:00 | 医師が診察後、ガーゼを外します |
| 10:00 | 検温 看護師と一緒に、室内を歩いてみましょう 尿の管を抜きます(翌日の朝10時まで、尿の量を測ります) 身体を拭きます(できるところは自分で拭いてみましょう) 体調、希望に合わせて洗髪を行います |
| 13:00 | 歯磨きをしましょう |
| 14:00 | 検温 点滴は24時間続けて行います 飲水の制限はありません |
| 18:00 | 検温 最初に歩くときは、看護師と一緒にいきます 痰を出しやすくするために必要に応じて吸入を行います |
| 21:00 | 検温 歯磨きをしましょう |
| 21:30 | 消灯 |
| MEMO 気になることや症状などを書き留めておきましょう | |
| 【医療スタッフの目標】 手術後の合併症が起こらないよう注意します | |



MEMO



疑問に思ったこと、質問したいことなど…
メモ用紙としてご利用ください

胃切除患者用パスにおける形式別の比較

| 内 容 | オーバービュー形式 | 目めくり形式 |
|---------------------|-----------|----------|
| 総ページ数 | 2ページ | 36ページ |
| 総文字数 | 1,661文字 | 12,505文字 |
| 総イラスト数 | 31個 | 95個 |
| 患者さんが日々記録できるメモ欄 | × | ○ |
| 手術に備えての練習について | — | あり |
| ICUに入室する場合について | — | あり |
| 地域医療連携について | — | あり |
| 食事の始まる方へ | — | あり |
| 胃の手術後に起こりやすい症状とその対策 | — | あり |
| 退院後の生活について | — | あり |
| 連絡先について | — | あり |

考 察

- ・ オーバービュー形式に比べ， 1日の流れがわかりやすい日めくり形式の方がより好ましいと考えた看護師が多かった。
- ・ 10年の経過で， 患者用パスは全パスにおいて整備され， 日めくり形式の割合が増加していた。

考 察

- ・日めくり形式には，多くの文字や図が使用されており，詳しい情報提供へ繋がっていると考えられた。
- ・また，患者さんが自ら記録する欄を擁しており，診療への積極的な参画を促すきっかけになると考えられた。

利点・欠点

オーバービュー形式

日めくり形式

| | | |
|------------------|-----|-----|
| わかりやすさ | ○ | ○ |
| 見やすさ | ○ | ○～◎ |
| 情報量 | △～○ | ◎ |
| 患者の自主参画 | — | ◎ |
| ツールとしての 使いやすさ | ○ | ○～◎ |
| 作成の労力 | 少ない | 多い |

結 論

今後も当院では、日めくり形式の患者用パスを推奨と考えている。

